



VMware Workstation 6.5

先進のデスクトップ仮想化ソフトウェア

概要

VMware® Workstation 6.5 は、デスクトップ コンピュータおよびラップトップ コンピュータ用のゴールドスタンダード仮想化ソフトウェアです。ユーザーは複数のオペレーティング システムを 1 台の PC で実行でき、マウスをクリックするだけで、容易に異なるコンピューティング環境間の切り替えを行います。複数のモニターから、ホスト OS デスクトップ内のゲスト アプリケーションを直接起動し、実行することも可能です。また、仮想マシンのスナップショットおよび記録を複数作成できます。さらに、1 台の PC 上で、複数のマルチ ティア アプリケーションのシミュレーションができます。Visual Studio または Eclipse を使用したリモート デバッグを実行することも可能です。

メリット

- 複数の物理システムを 1 台の仮想化 PC に統合し、ハードウェア コストの削減、生産性の向上、および管理の簡素化を実現
- パッチおよびアプリケーション ソフトウェアを分離してテストすることでリスクを排除。また、仮想マシンの状態を保存しておけば、バックアップまたは再利用が可能
- 仮想マシンを使用して、複数のプラットフォームにわたるデバッグが困難なアプリケーションを開発およびテストすることで、ソフトウェア開発を促進
- Workstation の統合リモート デバッグ機能を使用し、複数のプラットフォームにわたるアプリケーションのトラブルシューティングを行うことで、製品の品質を向上。



VMware Workstation を使用して仮想マシンのスナップショットを複数作成しておけば、ゲスト OS とそのアプリケーションをクリーンな状態に戻したり、完全に異なる構成に切り替えることができます。

VMware Workstation 6.5 のメリット

VMware Workstation は、ほかのデスクトップ仮想化ソフトウェアにはない優れたパフォーマンスおよび機能を提供します。VMware Workstation は、数百万のユーザーに支持され、業界の多数の賞を受賞しています。次にあげる機能は、VMware Workstation のみが実現できる機能です。

- 幅広いオペレーティング システムのサポート
- クラス最高の仮想マシン アーキテクチャ
- 機能の豊富なデスクトップの使用環境
- 高度なソフトウェア開発およびテスト ユーティリティ

VMware Workstation 6.5 は、IT 担当者、ソフトウェア エンジニア、テクニカル セールスおよびサポート担当者、PC のヘビー ユーザーなど、複数のオペレーティング システムに柔軟かつ迅速にアクセスして同時に実行するユーザーには不可欠なツールです。

IT 担当者

- 本番環境への導入前に、仮想マシン内にデスクトップとサーバを構成し、テストを実行
- 新しいマルチ ティア アプリケーション、サービスパック、アプリケーションのアップデート、およびオペレーティング システムのパッチ適用を 1 台の PC 上でテスト
- 仮想マシン内でレガシー アプリケーションをホストすることにより、オペレーティング システムの移行が容易になり、レガシー アプリケーションを移植する必要性を排除
- エンド ユーザー構成の仮想ライブラリを共有ドライブ上に作成

ソフトウェア開発者およびテスト担当者

- 1 台の PC で、複数のオペレーティングシステム上のアプリケーションを開発およびテスト
- 複数のスナップショットを使用して、時間のかかる構成作業を削減
- Visual Studio または Eclipse 用の統合仮想デバッグ プラグインを使用してリモート デバッグを実行
- 仮想マシンの状態を記録して再現することで、再現の困難なバグを検出して解決
- ファイル サーバにテスト環境を保存し、容易に共有

セールス、マーケティング、およびトレーニング担当者

- 繰り返し使用可能な信頼性の高い方法により、1 台のラップトップ PC 上でマルチ ティア構成のデモを実行
- トレーニング資料をパッケージングし、仮想マシンに展開
- 講習の受講者は、分離された安全な仮想マシン上で、複数のオペレーティングシステム、アプリケーション、およびツールをテスト可能
- シャットダウン時に、仮想マシンへのすべての変更を元に戻すように構成可能

主な機能

Workstation 6.5 の仕組み

VMware 仮想化ソフトウェアは、物理ハードウェア リソースを仮想マシンのリソースにマッピングします。これにより、各仮想マシンは独自の CPU、メモリ、ディスク、およびネットワーク インターフェイス カードを装備できます。仮想マシン間の切り替えを行う場合、再起動やハード ドライブのパーティショニングは必要ありません。仮想マシンは標準の x86 マシンと同様に完全に機能し、ほとんどの Windows、Linux、および Novell デスクトップとサーバオペレーティングシステムを実行できます。

主な機能

幅広いホストおよびゲスト OS のサポート

- Windows と Linux 両方のホスト OS 上で Workstation を稼働でき、Microsoft Windows、Linux、Solaris x86、NetWare、および FreeBSD のほとんどのデスクトップおよびサーバ版をゲスト OS としてサポート
- 32 ビットと 64 ビット両方のホスト OS およびゲスト OS をサポート

クラス最高の仮想マシンアーキテクチャ

- 各仮想マシンは、メモリ サイズ、ディスク、および I/O デバイスなどを完全に構成可能。また、CD、DVD、フロッピー、および USB 2.0 デバイスをサポート
- 仮想マシン 1 台あたり最大 8GB の RAM を指定可能
- ハイファイ オーディオおよびビデオ用の 64 ビットのサウンドドライバのメリットを活用
- 仮想マシン間の切り替えと、仮想マシンのサスペンドまたはレジュームを容易に実行
- フル クローンおよびリンク クローンの作成により、仮想マシンを容易にコピーして共有可能
- 物理マシンの仮想マシンへの変換、または Microsoft、Symantec などの仮想マシン形式からのインポートが可能

高度なネットワーク サポート

- ブリッジ、NAT、ホストオンリー、カスタム仮想ネットワーク設定などの強力な仮想ネットワーク オプションから選択
- 仮想マシンの相互接続、ホストへの接続、および組み込み DHCP サーバを使用したパブリック ネットワークへの接続が可能。仮想スイッチは最大 10 個使用できます
- チーム内の仮想マシン間のネットワークのバンド幅およびパケットロス率を指定可能

強力な開発およびテスト機能

- 仮想マシン全体の実行内容を長時間記録すれば、その記録内容を再生することで、以前実行した仮想マシンの動作および状態を完全に再現
- Visual Studio および Eclipse プラグインとの連携により、ゲスト OS でアプリケーションをデバッグし、実行中のプロセスに接続して、デバッグ セッションが終了したらスナップショットに復帰。仮想マシンの記録および再生テクノロジーは、Visual Studio の Integrated Virtual Debugger と連携して、逆実行の決定的再生およびシミュレーションの画期的なメリットを備えた同様のデバッグ環境を開発者に提供します (試験のサポート)
- スナップショット テクノロジーによる実行中の仮想マシンのポイント イン タイム コピーのキャプチャおよび管理が可能。また、マルチ スナップショット機能による変更からの復帰を実現
- チーミング機能により接続中の仮想マシンを管理し、マルチ ティア構成をシミュレーション
- リモート ユーザーは VNC クライアントから仮想マシンに接続可能
- VIX 自動化 API により、スクリプトから任意の仮想マシン コマンドを起動して定常作業を自動化

セキュリティと可搬性

- 暗号化および ACE オーサリング機能を使用して、128 ビットの暗号化を備えた仮想マシンを作成および管理
- VMware Workstation に含まれる VMware Player (同梱) を使用して、仮想マシンをローカルで安全に実行
- Pocket ACE を使用して、外出時は USB フラッシュドライブなどの便利なポータブル メディア デバイスで仮想マシンを携帯し、ほかの任意の PC から仮想マシンを実行。

製品仕様とシステム要件

VMware Workstation の製品仕様とシステム要件の詳細については、次のサイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products/ws/>

詳細情報

VMware 製品のご購入、または詳細情報については、弊社営業部門に電話 (03-4334-5600) またはメールでお問い合わせいただくか、次の製品 Web サイトをご覧ください。

www.vmware.com/jp/products